

Car Entertainment Magazine
GENROO
Super
スーパーSUV
SUV

THE EXTREME SUV
**ハイエンド
SUVの世界**

ロールス・ロイス初のSUV、カリナン
新世代ポルシェ・カイエンSを試す
不朽の名作、メルセデス・ベンツGクラス



[特別企画]

ジープ・ラングラー タフトーク
SUVスペシャルショップ / カスタムカーレポート



1年だけの限定販売というAMG G63エディション1の、メッキ部分をラッピング。さらにグリルやモール、ドアノブなどもチャコールグレーとマットブラックに置き換えたモノトーン仕様となる。

HYPER FORGED HF-DiC Mercedes-AMG G63 EDITION 1

新型Gクラスの日本におけるストーリーの幕が、今、開いた。そう強く感じさせるカスタムカーが、このAMG G63エディション1だ。持ち前のクールな装いをさらに引き締めるラッピング類に加えて極めつけとなるハイパーフォージド製HF-DiCが装着された。



ハイパーフォージドの最新作にしてアシンメトリー(左右非対称)パターンを採用したHF-DiC。スーパースポーツ勢に親しまれるが、スクエアなスタイリングを持つGクラスに当てはめても似合う。この個体はオフロードタイヤ(NITTO TRAIL GRAPPLER)を組み合わせる。

PRICE LIST

19インチ(7.5J~14.0J)	13万6000~18万9000円
20インチ(7.5J~15.0J)	14万7000~20万6000円
21インチ(7.5J~14.0J)	17万7000~24万8000円
22インチ(8.5J×14.0J)	22万4000~34万9000円

※価格は税別。



最新タフネス、夢の共演

新型Gクラスが、徐々に街中へと解き放たれている。あの手この手でカスタムやコーディネートしようと躍起になっている人は少なくない。そうした中、いきなり抜群の完成度を持ったAMG G63が現れた。

ベースはAMG G63エディション1である。マットブラックの外装色に、一部に差し色としてレッドが入る1年間だけの特別仕様だ。稀有なこの個体をもとに、チャコールグレーとマットブラックのラッピングを使って差し色やメッキの光沢を殺してまで、全体を沈ませた仕上げとする。メルセデス純正のコーディネートを尊重しつつ、ひと味違うスタイルの提案である。

そのキモとなるのが、大柄な車体を支える足もとで、この個体は国産鍛造技術を駆使して生まれたハイパーフォージド製のHF-DiCホイールに置き換えられていた。アシンメトリー(左右非対称)デザインを持つ同銘柄は、今までオンロードのスポーツ性能に重きが置かれたスーパースポーツ勢に親しまれてきた。しかし、今回はGクラスである。それもNITTO製のオフロードタイヤ(TRAIL GRAPPLER)が組み合わされていた。日本未導入サイズの33×12.50R22LTサイズを持ってきて、前後とも10.5J×22インチサイズのHF-DiCとコラボさせた。

ホイールの表情はボディカラーの雰囲気に合

ったもの。ディスクはショットピーン・アナダイズドブラックで、リムもアナダイズドブラック/マットとして統一感を生み出す。新型モデルだからこそ、過度な装飾で着飾りたくなくところ、取替えてすべてを落ちついた通好みするコーディネートだ。だからなのか、まるでメーカービルドの特別仕様車のごとく、ごく自然な落ち着きを感じさせる。HF-DiCはモノ単体で見ればアヴァンギャルドなスタイルだ。しかし、コーディネートの妙技で実に大人っぽい表情となる。新型Gクラスのカスタムはこれから盛り上がるだろう。しかし、これだけハイセンスなお手本が早々に現れるとは驚きである。